

公益社団法人 郡山青年会議所  
2015年度 事業報告

年間事業報告	
月日	事業内容
1月4日	第1回臨時常任理事会
1月4日	第1回臨時理事会
1月4日	新年祈禱
1月5日	2015年度新春賀詞交歓会
1月5日	OB会総会・新年会
1月5日	(公社)会津青年会議所新年会
1月7日	第1回常任理事会
1月8日	街こおりやま新年会
1月9日	郡山医師会新年会
1月14日	郡山市PTA連合会新春教育懇談会
1月15日	郡山ロータリークラブ卓話
1月16日	第1回理事会
1月17日	郡山歯科医師会新年会
1月19日	(公社)郡山青年会議所2015年度新年会
1月19日	東日本大震災復興市民総決起大会委員長副委員長会議
1月20日	文団連新春交流会
1月21日	知事を囲む新春議員懇談会
1月23日～25日	京都会議
1月24日	郡山商工会議青年部創立30周年
1月25日	本名徹次氏を囲む会
1月26日	KPC福島の未来を考える青年団体協議会新年会
1月26日	第2回 財政審査会議
1月27日	1月例会・定時総会
1月27日	(一社)もとみや青年会議所新年会
1月27日	(一社)浪江青年会議所新年会
1月28日	(公社)二本松青年会議所新年会
1月30日	(公社)白河青年会議所新年会
1月31日	(公社)いわき青年会議所新年会
2月2日	(一社)いわき石川青年会議所新年会
2月2日	第2回常任理事会
2月3日	県南エリア会議
2月4日	「少年の主張」コンクール発表会
2月4日	「久米正雄先生・宮本百合子先生」勉強会
2月7日	東北ゼミナール委員会開校式・オープン講座
2月8日	第1回会員会議所会議
2月8日	東北青年フォーラム主管副主管締結式 ブロック大会主催主管締結式 ブロック大会主管副主管締結式 (全城連主管副主管締結式) 福島ブロック協議会「新春のつどい」
2月8日	アカデミー委員会開校式 新春大懇親会
2月9日	郡山商店街連合会
2月12日	(公社)須賀川青年会議所新年会
2月13日	第2回理事会
2月14日～15日	2015年度新入会員オリエンテーション
2月16日	第1回OB役員会並びに現役役員との懇談会
2月17日	(一社)東白川青年会議所新年会
2月18日	平成27年度 国土緑化郡山市推進委員会会議
2月19日	郡山市観光協会「組織体制強化に向けた意見交換会」
2月20日	県南エリア会議
2月22日	湯浅譲二先生 文化功労者顕彰記念祝賀会
2月23日	東日本大震災復興市民総決起大会
2月24日	第3回 財政審査会議
2月26日	郡山北警察署協議会
2月26日	2月例会
2月28日	「久米正雄先生・宮本百合子先生」墓参
3月1日	第2回 会員会議所会議
3月2日	第3回 常任理事会
3月4日	FSGカレッジリーグ合同卒業式
3月5日	平成26年度 第2回市民協働のまちづくり推進協議会
3月5日	第31回自衛隊郡山音楽祭
3月6日	東都学園卒業式
3月7日	第20回 音楽都市こおりやま全国合唱祭歓迎会
3月8日	花柳流 あやめ会 合同新年会
3月9日	郡山警察署・郡山北警察署幹部並びに青年警察職員との懇談会
3月11日	福魂祭 FUKUSHIMA SOUL
3月13日	第3回 理事会
3月14日	福島ブロック協議会 第1回アカデミー委員会
3月17日	福島県中小企業家同友会郡山地区第29回総会記念講演会・懇親会
3月18日	PEP Kids Koriyama 支援協力
3月19日	第1回「第50回郡山市こどもまつり実行委員会」
3月19日	第1回会員拡大会議
3月22日	日本JC第148回総会・全国理事長パワーセッションII
3月23日	第4回財政審査会議
3月24日	市民総決起大会決議の中央要望
3月24日	ふくしまデスティネーションキャンペーンPRイベント「誰もが笑顔になる“こおりやま”おもてなし大作戦」
3月26日	通常議員セミナー、通常議員総会懇親会
3月26日	第2回「第18回わんぱく相撲福島ブロック大会運営協議会」
3月28日	3月例会開催並びに親子で運動教室開催
3月30日	道路整備に関する要望活動
4月1日	JR郡山駅 発車メロディ変更プロジェクト オープニングセレモニー
4月1日	第4回常任理事会
4月3日	福魂祭実行委員会
4月4日	福島ブロック協議会 会員会議所会議
4月4日	学校法人こおりやま東都学園 郡山健康科学専門学校 入学式
4月4日	郡山市中央公民館オープニングセレモニー
4月8日	FSGカレッジリーグ合同入学式
4月10日	郡山市青少年健全育成推進協議会 第1回理事会
4月11日	第64回全国大会東北八戸大会主管・副主管締結式
4月12日	新・東北3つの夢 総決起大会
4月12日	郡山駐屯地創立62周年記念行事
4月14日	第4回理事会
4月15日	PEP Kids Koriyama 支援協力
4月16日	開成山公園の桜のライトアップ「点灯式」並びに「懇親会」

4月16日	第2回「第50回郡山市こどもまつり実行委員会」
4月17日	郡山市青少年健全育成推進協議会総会
4月17日	公益に伴う予算科目変更勉強会
4月19日	郡山市文化団体連絡協議会 総会
4月20日	4月例会並びにチェリーパーティー
4月21日	郡山商工会議所青年部定時総会「懇親会」
4月21日	会員拡大委員会
4月22日	佐藤栄佐久著「日本劣化の正体」出版記念会
4月22日	「第50回郡山市こどもまつり」説明会
4月23日	第5回 財政審査会議
4月25日	会頭公式訪問
4月26日	福島ブロック協議会「しゃくなげカップ2015 チャリティーゴルフコンペ」
4月27日	第3回「第18回わんぱく相撲福島ブロック大会運営協議会」
4月27日	県南エリア会議
4月28日	「第54回久米賞・百合子賞」実行委員会 第1回委員会
5月1日	第5回 常任理事会
5月2日	全国一斉！自分たちの未来を考え描こう
5月5日	第50回郡山市こどもまつり
5月10日	第4回会員会議所会議
5月12日	郡山地域道路整備促進期成同盟会平成27年度通常総会
5月12日	郡山まちづくり推進協議会平成27年度通常総会
5月14日	郡山うねめまつり実行委員会
5月14日	サマーフェスタIN KORIYAMA 2015 実行委員会
5月14日	郡山北警察署協議会
5月14日	第5回 理事会
5月15日	世界ベンチ・イス創作コンテスト「実行委員会」
5月17日	(一社)東白川青年会議所創立35周年記念式典並びに祝賀会
5月18日	福島県中小企業家同友会「総会懇親パーティー」
5月20日	PEP Kids Koriyama 支援協力
5月20日	第2回 会員拡大会議
5月22日	第6回 財政審査会議
5月23日	第34回全国城下町シンポジウム會津大会
5月24日	第18回わんぱく相撲郡山場所
5月25日	5月例会並びに地域の魅力を大いに語ろう！大交流会
5月26日	平成27年度郡山市献血推進協会定期総会
5月26日	福島県立聾学校 児童生徒後援会役員会・総会
5月26日	通常議員総会懇親会
5月27日	郡山市国際交流協会理事会・通常総会
5月28日	こおりやま産業博-KORIYAMA EXPO 2015- 実行委員会
5月28日	県南エリア会議
5月29日	郡山うねめまつり実行委員会企画部会
5月29日	「ごみゼロの日」ポイ捨て等防止啓発キャンペーン
5月29日	郡山商工会議所女性会平成27年度「第35回通常総会・懇親会」
5月30日	(一社)いわき石川青年会議所創立35周年記念式典並びに祝賀会
5月30日	KPC総会 講演会
5月31日	郡山農学校総会懇親会
6月1日	郡山市商店街連合会 平成27年度通常総会懇親会
6月1日	第6回 常任理事会
6月2日	郡山市交通対策協議会定期総会
6月2日	「第50回郡山市こどもまつり」第3回実行委員会
6月3日	郡山市観光協会理事会・総会
6月5日	2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業等郡山市推進会議 第1回推進会議
6月5日	「第54回久米賞・百合子賞」審査委員初顔合わせ会
6月6日	第5回会員会議所会議
6月9日	「春期道路整備セミナー」講演会並びに講師を囲む懇談会
6月11日～14日	第65回JCI ASPACコタキナル大会
6月11日	平成27年度暴力団追放郡山市民会議役員会及び総会
6月14日	第18回わんぱく相撲福島ブロック大会
6月15日	第1回OB現役交流会
6月16日	第6回 理事会
6月17日	PEP Kids Koriyama 支援協力
6月19日	県南エリア会議
6月21日	市民総ぐるみクリーンこおりやま運動への参加
6月21日	(公社)須賀川青年会議所創立50周年
6月25日	第7回 財政審査会議
6月27日	(一社)原町青年会議所創立45周年記念式典並びに記念祝賀会
6月28日	6月例会並びにドリームフェスタ
6月30日	郡山商工会議所暴力団追放対策懇談会通常総会
7月1日	肢体不自由児後援会常任理事会並びに総会
7月1日	第7回 常任理事会
7月4日	第6回会員会議所会議
7月4日～5日	第45回福島ブロック大会inいわき石川
7月9日	中間監査
7月10日	第38回みんなで交通事故をなくそう郡山市民大会
7月10日	ふくしまの女流文学者たち
7月12日	(公社)だて青年会議所創立35周年記念式典・祝賀会
7月14日	第7回 理事会
7月14日	フランス共和国革命記念日祝賀レセプション
7月15日	PEP Kids Koriyama 支援協力
7月15日	平成27年度郡山市関係全国大会出場者壮行会
7月18日～7月19日	サマーコンファレンス
7月21日	郡山うねめまつり「うねめ踊り流し」第2回参加団体説明会
7月21日	7月例会並びに安里繁信氏講演会
7月23日	第8回 財政審査会議
7月23日	理事メンバー暑気払い
7月25日	第1回スマイルサマーキャンプ～子どもたち夏わくわく体験交流プログラム～(事前説明会)
7月28日	明るい祭礼推進委員会監査
7月29日	郡山市観光協会第2回理事会
7月29日	まちなか音ステージ実行委員会
7月29日	第8回 常任理事会
8月2日	第31回わんぱく相撲全国大会
8月7日～9日	奈良JCとの交流会及びうねめまつり踊り流し参加
8月10日	第8回 理事会
8月11日	郡山市明るい祭礼推進委員会総会
8月18日～19日	第2回スマイルサマーキャンプ～子どもたち夏わくわく体験交流プログラム～
8月19日	PEP Kids Koriyama 支援協力
8月19日	(仮称)郡山市中小企業振興基本条例に関する市内各種団体・金融・教育機関との意見交換会
8月21日	第9回 財政審査会議

8月24日	第9回 常任理事会
8月26日	第13回郡山の秋祭り・子供相撲大会実行委員会
8月26日	郡山北警察署協議会
8月28日	8月例会並びに安孫子薫氏講演会
8月29日	第64回全国大会東北八戸大会総決起集会
8月30日	次世代のための市民協働防災プロジェクト
8月31日	県南エリア会議
9月1日	郡山芸妓組合「感謝の集い」
9月2日	第9回 理事会
9月4日～6日	2015年度 東北青年フォーラム in 二本松・浪江
9月8日	第54回「久米賞・百合子賞」第1次審査 読み合わせ会
9月12日	第7回会員会議所会議
9月13日	郡山風土フェスタ
9月13日	知る・見る・遊ぶ 郡山なるほど検定
9月15日	ウィンターフェスタ IN KORIYAMA 2016「実行委員会」
9月15日	ビッグツリーページェント・フェスタ IN KORIYAMA実行委員会
9月16日	PEP Kids Koriyama 支援協力
9月16日	KPC郡山の未来を考える青年団体協議会 定例会
9月17日	9月例会並びに定時総会
9月18日	福島県中小企業家同友会郡山地区9月例会
9月19日	こおりやま産業博 開会式
9月24日	第10回 財政審査会議
9月24日～27日	第64回 全国大会 東北八戸大会
9月27日～28日	奈良公式訪問
9月27日	郡山の秋祭り・子供相撲大会
10月1日	「郡山市地酒等乾杯条例」をすすめる集い
10月1日	第10回 常任理事会
10月3日	まちなか音ステージ & こおりやま“まちおこし合戦”「オープニングセレモニー」
10月9日	特別企画展「金子みすゞの世界」内覧会
10月9日	「第54回久米賞・百合子賞」実行委員会 第2回委員会
10月10日	平成27年度「郡山市植樹祭」
10月11日	ドリームサッカーフェスティバル
10月13日	第10回 理事会
10月16日	県南エリア会議
10月18日	第2回市民総ぐるみクリーンこおりやま運動
10月19日	平成27年度「小学生の税に関する標語」審査会
10月19日	第2回OB現役交流会
10月20日	2015年度 10月例会
10月21日	PEP Kids Koriyama 支援協力
10月23日	第11回 財政審査会議
10月24日	みんなの市民活動交流フェスタ
10月25日	会員会議所会議
10月27日	樋渡 啓祐 氏講演会『すぐやる、攻める、そして組む。』～アイデアと行動力、10年後の郡山を考える～
10月31日	南双葉青年会議所創立30周年記念式典
11月2日	郡山商工会議所創立90周年記念式典
11月2日	第11回 常任理事会
11月3日～8日	2015年JCI世界会議金沢大会
11月4日	第54回『久米賞・百合子賞』最終審査会
11月5日	「夢と希望をのせて」第32回チャリティーパーティー
11月11日	美しい日本語表現コンテスト
11月11日	平成27年度「小学生の税に関する標語」表彰式
11月12日	第11回暴力団追放郡山市民大会
11月13日	郡山市豊かな長寿社会いきいきふれあいの集い
11月13日	第11回 理事会
11月18日	PEP Kids Koriyama 支援協力
11月19日	第38回郡山市青少年健全育成推進大会
11月20日	ビッグツリーページェント・フェスタ in KORIYAMAオープニングセレモニー
11月21日	11月例会並びに第54回「久米賞・百合子賞」授賞式
11月22日	羽ばたけ!がくとくん フェスティバル2015
11月25日	県南エリア会議
11月26日	第12回 財政審査会議
11月27日	第2回「第13回郡山の秋祭り・子ども相撲大会」実行委員会並びに懇親会
11月29日	2015年度会員会議所会議
11月29日	2015年度事業報告会
11月29日	2015年度卒業式
11月30日	第3回郡山北警察署協議会
12月1日	第2回 臨時理事会
12月1日	第12回 常任理事会
	12月臨時総会
	12月例会
12月5日	卒業式
	送別会
12月10日	第12回 理事会
12月12日	福島大学 研究・地域連携成果報告会
12月16日	PEP Kids Koriyama 支援協力
12月21日	監査前資料確認
12月26日	事務局清掃

公益社団法人 郡山青年会議所 2015年度 各委員会月別報告書 No.1

	総務委員会	会員開発委員会
1月	8日 第1回委員会開催 19日 新年会開催 20日 第2回委員会開催 文書発送 27日 1月例会・定時総会	9日 委員会の開催(第1回) 13日 委員会の開催(第2回) 22日 委員会の開催(第3回)
2月	6日 第3回委員会開催 8日 新春の集い引率 18日 第4回委員会開催 文書発送 26日 2月例会開催	9日 委員会の開催(第4回) 17日 委員会の開催(第5回) 14日・15日 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナーの実施(室合同)
3月	4日 第5回委員会開催 16日 第6回委員会開催 文書発送 28日 3月例会	4日 委員会の開催(第6回) 16日 委員会の開催(第7回) 19日 会員拡大会議の開催 25日 委員会の開催(第8回)
4月	3日 第7回委員会開催 16日 第8回委員会開催 文書発送 20日 4月例会開催	3日 委員会の開催(第9回) 20日 4月例会チェリーパーティーの開催 24日 委員会の開催(第10回)
5月	7日 第9回委員会開催 18日 第10回委員会開催 文書発送 25日 5月例会開催	7日 委員会の開催(第11回) 20日 委員会の開催(第12回) 20日 会員拡大会議の開催(第2回)
6月	3日 第11回委員会開催 18日 第12回委員会開催 文書発送 28日 6月例会並びにドリームフェスタ開催	3日 委員会の開催(第13回) 15日 OB・現役交流会の開催(第1回) 19日 委員会の開催(第14回) 24日 委員会の開催(第15回)
7月	3日 第13回委員会開催 15日 第14回委員会開催 文書発送 21日 7月例会開催 30日 第15回委員会開催	4日・5日 第45回福島ブロック大会inいわき石川引率 8日 委員会の開催(第16回) 16日 委員会の開催(第17回) 25日 会員拡大会議の開催(第3回)
8月	8日 奈良JC来訪・うねめまつり参加引率 12日 第16回委員会開催 文書発送 27日 第17回委員会開催 28日 8月例会の開催	5日 委員会の開催(第18回) 20日 委員会の開催(第19回) 25日 委員会の開催(第20回)
9月	3日 第18回委員会開催 15日 第19回委員会開催 17日 9月例会並びに定時総会開催 27日～28日 奈良公式訪問開催	10日 委員会の開催(第21回) 25日・26日・27日 第64回全国大会東北八戸大会引率
10月	2日 第20回委員会開催 15日 第21回委員会 文書発送 20日 10月例会開催	2日 委員会の開催(第22回) 7日 委員会の開催(第23回) 29日 委員会の開催(第24回)
11月	5日 第22回委員会開催 17日 第23回委員会開催 文書発送 21日 11月例会の開催 22日 羽ばたけ! がくとくんフェスティバル2015開催	10日 委員会の開催(第25回)
12月	3日 第24回委員会開催 5日 12月臨時総会・12月例会並びに卒業式開催 15日 第25回委員会開催 文書発送	9日 委員会の開催(第26回)

公益社団法人 郡山青年会議所 2015年度 各委員会月別事業報告書 No.2

	広報委員会	まちづくり委員会
1月	◎月別委員会の開催 第1回委員会開催13日 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎広報誌1月号の発行	13日 第1回委員会開催 20日 第2回委員会開催 23日～25日 京都会議引率
2月	◎月別委員会の開催 第2回委員会開催10日 第3回委員会開催25日 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎新入会員オリエンテーション並びに 現役会員向け会員開発セミナーの実施(室合)	4日 久米正雄先生・宮本百合子先生 勉強会(室合同) 6日 第3回委員会開催 18日 第4回委員会開催 28日 久米正雄先生・宮本百合子先生 墓参(室合同)
3月	◎月別委員会の開催 第4回委員会開催6日 第5回委員会開催25日 ◎広報誌特別号の発行 ◎ホームページの企画・運営・管理	5日 第5回委員会開催 第6回委員会開催
4月	◎月別委員会の開催 第6回委員会開催13日 第7回委員会開催21日 ◎JR郡山駅発車メロディ変更プロジェクト ◎ホームページの企画・運営・管理	3日 第7回委員会開催 13日 第8回委員会開催 16日 第9回委員会開催 28日 第54回「久米賞・百合子賞」実行委員会第1回委員会開催(室合同)
5月	◎月別委員会の開催 第8回委員会開催11日 第9回委員会開催19日 第10回委員会開催28日 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎広報誌5月号の発行	2日 第10回委員会開催 11日 第11回委員会開催 18日 第12回委員会開催 25日 5月例会企画・開催 27日 第13回委員会開催 29日 第54回「久米賞・百合子賞」審査委員初顔合わせ会(室合同)
6月	◎月別委員会の開催 第11回委員会開催10日 第12回委員会開催19日 第13回委員会開催29日 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎広報誌特別号の発行	3日 第14回委員会開催 10日 第15回委員会開催 17日 第16回委員会開催 21日 市民総ぐるみクリーンこおりやま運動 26日 第17回委員会開催
7月	◎月別委員会の開催 第14回委員会開催10日 第15回委員会開催16日 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎サマーコンファレンスへの引率	3日 第18回委員会開催 14日 第19回委員会開催 27日 第20回委員会開催
8月	◎月別委員会の開催 第16回委員会開催5日 第17回委員会開催17日 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎8月例会企画・設営 ◎広報誌8月号の発行	3日 第21回委員会開催 17日 第22回委員会開催 25日 第23回委員会開催
9月	◎月別委員会の開催 第18回委員会開催7日 第19回委員会開催16日 ◎広報誌特別号の発行 ◎ホームページの企画・運営・管理	3日 第24回委員会開催 4日 第54回「久米賞・百合子賞」応募締切・1次審査開始(室合同) 8日 第54回「久米賞・百合子賞」第1次審査読合せ会開催(室合同) 13日 第54回「久米賞・百合子賞」第1次審査読合せ会開催(室合同) 13日 知る・見る・遊ぶ郡山なるほど検定開催 13日 郡山風土フェスタ開催 18日 第25回委員会開催
10月	◎月別委員会の開催 第20回委員会開催6日 第21回委員会開催17日 ◎ホームページの企画・運営・管理	2日 第26回委員会開催 9日 第54回「久米賞・百合子賞」第2回実行委員会の開催(室合同) 17日 第27回委員会開催 18日 第2回市民総ぐるみクリーンこおりやま運動 28日 第28回委員会開催
11月	◎月別委員会の開催 第22回委員会開催5日 第23回委員会開催25日 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎広報誌特別号の発行	4日 第54回「久米賞・百合子賞」最終審査会(室合同) 6日 第29回委員会開催 11日 郡山なるほど出前授業開催 郡山市立海老根小学校 18日 第30回委員会開催 19日 郡山なるほど出前授業開催 郡山市立明健小学校 21日 11月例会・第54回「久米賞・百合子賞」授賞式企画・設営(総務・室合同) 24日 郡山なるほど出前授業開催 郡山市立大島小学校 27日 郡山なるほど出前授業開催 郡山市立赤木小学校
12月	◎月別委員会の開催 第24回委員会開催1日 第25回委員会開催22日 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎広報誌12月号の発行	8日 第31回委員会開催 16日 第54回「久米賞・百合子賞」第3回実行委員会の開催(室合同) 22日 第32回委員会開催

公益社団法人 郡山青年会議所 2015年度 各委員会月別事業報告書 No. 3

	青少年育成委員会	地域創造特別委員会
1月	13日 委員会の開催(第1回) 20日 委員会の開催(第2回)	8日 委員会の開催(第1回) 20日 委員会の開催(第2回)
2月	4日 久米正雄先生・宮本百合子先生勉強会 6日 委員会の開催(第3回) 19日 委員会の開催(第4回) 28日 久米正雄先生・宮本百合子先生墓参 ◎第54回「久米賞・百合子賞」実行委員会の設置(室合同)	3日 委員会の開催(第3回) 25日 委員会の開催(第4回) 26日 2月例会開催(労働福祉会館)
3月	5日 委員会の開催(第5回) 7日 委員会の開催(第6回) 28日 3月例会開催並びに親子で運動教室(東部体育館)	11日 委員会の開催(第5回) 25日 委員会の開催(第6回)
4月	7日 委員会の開催(第7回) 16日 委員会の開催(第8回) 28日 第54回「久米賞・百合子賞」第1回実行委員会の開催(室合同)	3日 委員会の開催(第7回) 15日 委員会の開催(第8回)
5月	4日 「第50回郡山市こどもまつり」への参加 7日 委員会の開催(第9回) 18日 委員会の開催(第10回) 24日 わんぱく相撲郡山場所開催	7日 委員会の開催(第9回) 15日 委員会及び委員会セミナーの開催(第10回) 23日 第34回全国城下町シンポジウム會津大会 参加・設営・ブース出店(会津鶴ヶ城公園)
6月	3日 委員会の開催(第11回) 5日 第54回「久米賞・百合子賞」審査委員初顔合わせ会(室合同) 10日 委員会の開催(第12回) 14日 わんぱく相撲福島ブロック大会場所引率 17日 委員会の開催(第13回) 22日 委員会の開催(第14回) 29日 委員会の開催(第15回)	4日 委員会の開催(第11回) 30日 委員会の開催(第12回)
7月	3日 委員会の開催(第16回) 7日 委員会の開催(第17回) 14日 委員会の開催(第18回) 22日 委員会の開催(第19回) 25日 第1回スマイルサマーキャンプ(事前説明会)	6日 委員会の開催(第13回) 27日 委員会の開催(第14回)
8月	2日 わんぱく相撲全国大会引率 5日 委員会の開催(第20回) 18日 第2回スマイルサマーキャンプ(1日目) 19日 第2回スマイルサマーキャンプ(2日目) 26日 委員会の開催(第21回)	5日 委員会の開催(第15回) 20日 委員会の開催(第16回) 26日 委員会の開催(第17回)
9月	3日 第54回「久米賞・百合子賞」読み合わせ会(室合同) 7日 委員会の開催(第22回) 14日～「久米賞・百合子賞」応募締め切り、一次審査(室合同) 15日 委員会の開催(第23回)	4～6日 東北青年フォーラム引率・ブース出店 16日 委員会の開催(第18回)
10月	2日 委員会の開催(第24回) 9日 第54回「久米賞・百合子賞」第2回実行委員会の開催(室合同) 17日 委員会の開催(第25回)	7日 委員会の開催(第19回) 21日 委員会の開催(第20回) 27日 樋渡啓祐氏講演会開催
11月	4日 第54回「久米賞・百合子賞」最終審査会の開催(室合同) 6日 委員会の開催(第26回) 20日 委員会の開催(第27回) 21日 第54回「久米賞・百合子賞」授賞式(室合同) 24日 委員会の開催(第28回)	5日 委員会の開催(第21回) 24日 委員会の開催(第22回)
12月	3日 委員会の開催(第29回) 16日 第54回「久米賞・百合子賞」第3回実行委員会の開催(室合同) 21日 委員会の開催(第30回)	3日 委員会の開催(第23回) 16日 委員会の開催(第24回)

# 2015年度 総務委員会

委員長：大槻 俊介  
副委員長：森尾 興史 二瓶 一嘉 村上 和洋  
★委員会スローガン

## 一期一会

～新たな同志と共に歩みだそう～

### ★ 事業方針

総務委員会は郡山青年会議所が明るい豊かな社会実現に向け歩みを止める事なく、各委員会がまちづくり、ひとづくりに注力出来るようその根幹を支え続けて来た。そして、同じ時に同じ志を持ち郡山青年会議所に入会した会員たちが中心となり活動する機会を与えられた委員会でもある。

新入会員は例会の設営や庶務に関する業務から基本を学び、事業を通じてまちづくり、ひとづくりを学び地域のリーダーに相応しい人財となるべくJAYCEEとして成長する。また教育するスタッフも、今一度郡山青年会議所のあるべき姿を考え実践し、新入会員の見本となるべく自己研鑽に努め共に成長していく。

総務委員会は郡山青年会議所の運動や遠征事業に積極的に参加する事で、現役会員やOB会会員の先輩方との交流、奈良青年会議所との交流、各種事業の参加者との交流を通して多くの学び、気づきを得る事が出来る。そしてなによりも郡山青年会議所へ時を同じく入会し、共に「奉仕」・「修練」を実践する大切な同志と「友情」が育まれる。総務委員会全員が「一期一会」の精神を持ち、JAYCEEとしてより多くの経験を得る事が成長の起爆剤となり、今後の郡山青年会議所の更なる発展、そして明るい豊かな郡山の創造へと繋がっていく。

### ★ 事業計画

	〔開催予定月〕
1. 新入会員の教育・指導	〔通年〕
2. 例会の設営	〔通年〕
3. 新年会の設営	〔1月〕
4. 定時総会の設営	〔1月・9月〕
5. 6月例会の企画運営	〔6月〕
6. うねめまつり参加引率	〔8月〕
7. 奈良公式訪問	〔9月〕
8. 卒業式の企画運営	〔12月〕
9. 文書発送作業	〔毎月15日〕
10. 常任理事会、理事会等諸会議の設営と運営、その他庶務に関する業務	
11. 総会資料、会員名簿・名刺の作成	
12. 会員拡大に関する情報収集	〔通年〕
13. その他理事長所信に基づき行なう事業	

#### 1. 新入会員の教育・指導

年間を通じて新入会員には様々な経験を通して、本人たちの成長に繋げる事が出来た。21名という多くのメンバーでのスタートとなり意識の統一も難しい局面が数多くあったが、全員一丸となりJC運動に取り組むことが出来た。

#### 2. 例会の設営

##### ① 1月例会の設営

京都会議直後のタイトなスケジュールや出向者の公欠が多かったという事もあり、現役会員の出席が少なくなってしまうのは残念であった。設営に関してはスタッフが中心となり新入会員に背中を見せるべくしっかりと取り組む事が出来た。

##### ② 2月例会の設営

新入会員にとって初めての設営となる2月例会を、地域創造特別委員会の皆様を始めとするメンバーの皆様のご協力をもって、無事に終了する事が出来た。緊張の中責任感を持って設営に取り組む新入会員の姿を見て、スタッフも更なる自己研鑽に努める意識醸成に繋がった。

##### ③ 3月例会の設営

初めての東部体育館での例会だったが、現調をしっかりと実施しシミュレーションした事で、当日はスムーズに例会を設営・運営する事ができた。資料配布など緊急対応にはまだまだ経験が必要な部分は多いが、新入会員の少しずつではあるが確実な成長を感じる事ができた。



#### ④ 4月例会の設営

ホテルでの例会は数をこなしてきたせいか、少しずつスムーズに設営出来るようになってきたと感じた。司会やセレモニーでは細かいミスはあったが、今後の例会へむけてしっかりと指導する意識を強めた例会となった。

#### ⑤ 5月例会の設営

5月例会もホテルでの開催となり、設営に関しては事前準備も余裕を持ってこなす事が出来た。しかしセレモニー等で細かいミスがあるなど、大所帯の総務委員会故に抱える問題も徐々に明らかになってきたと改めて感じた。

#### ⑥ 6月例会の設営

休日そして市街地から離れた場所での開催となり、現役会員及びご家族には参加に際しご迷惑をおかけしたが参加者には十分に楽しんでいただけるような例会を設営する事が出来た。新入会員も企画立案、前日からの設営を通じて結束を強める良い機会となった。

#### ⑦ 7月例会の設営

皆様のおかげで無事に100%例会を達成する事が出来た良い例会であった。公開講演会、次年度理事長予定者の発表と内容が濃い例会である中でリハーサル時に各委員会の連携が難しい部分があったと感じた。7月は例会の中でも特別な意味を持つ例会の1つとなるので、設営に関してしっかりと次年度総務委員会、そして関係委員会に引き継ぐ必要がある例会であった。

#### ⑧ 8月例会の設営

本年度初めての会場であったが、現調及び現役会員の皆様のアドバイスもありスムーズに例会を運営する事が出来た。また場面転換に関しても、皆様にご協力いただきスムーズに転換する事が出来た。有料の講演会にも関わらず満員御礼となり、多くの市民の皆様と郡山を元気にする想いを共有できた事は非常に良い経験であった。

#### ⑨ 9月例会の設営

新入会員も経験を積み、慣れ親しんだ会場での設営は安心感を持って見守る事が出来た例会であった。現役会員の皆様にも多く出席いただき、定時総会を控える中しっかりとオンタイムで設営が出来た。現調やホテル側との打ち合わせにも参加する新入会員も増え、各自の総務委員である事への責任感が高まっている事が伝わった。

#### ⑩ 10月例会の設営

事業と切り離し開催時間を通常より遅らせ、会員が参加しやすいように計画した例会であったが出席者数に変化はなかった。例会出席の重要性を常日頃より認知してもらう必要がある。また会務報告も通常より時間を確保したが時間内に収まらず、例会のタイムテーブルや一つ一つのセレモニーの段取りも再考する余地があると判断した例会となった。

#### ⑪ 11月例会の設営

久米賞百合子賞表彰式後の例会となったがスムーズに転換及び設営が出来た。新入会員が設営する最後の例会であり、更には次年度新入会員がオブザーブ参加する例会であった事から、新入会員もひとつひとつのセレモニーに全力でしっかりと取り組む事が出来た。

#### ⑫ 12月例会の設営

非常にタイトなスケジュールの中ではあったが、総務委員会一丸となり設営に取り組んだ。歴代理事長の皆様に介添えを頂き、本年度成田理事長から次年度理事長予定者青木誠くんへ無事にプレジデンシャルリースを伝達する事が出来た。褒賞委員会、会員選考委員会、そして次年度執行部予定者が関わる重要な例会であり、事前の情報収集及びリハーサルも行ったがそれでも十分では無い事を改めて感じた。

### 3. 新年会の設営

総務委員会の初めての設営の中ではあったが多くの来賓、来訪の皆様にご今年度成田理事長の所信を発表し、その想いをしっかりと伝えることができた。新入会員も緊張している中ではあったが個々の役割をしっかりと全うし、おもてなしの心を持つ事で様々な学び・気づきを得る事が出来た。皆様のご協力もあり盛会の中新年会を終える事ができ、2015年度体制をしっかりとスタート出来た。

### 4. 定時総会の設営

#### ① 1月定時総会

議長 増子 譲君、副議長 椎根 健雄君のもとで開催された1月定時総会に多くの現役会員にご出席いただいた。2014年度の事業報告、決算の重要な議案を皆様にご協力いただきスムーズに進行し審議いただく事が出来た。総会資料は事前に何度も確認したが、それでも細部にミスがあった事からも、しっかりと確認する事の重要性を痛感した。

## ② 9月定時総会

議長 二瓶 孝吉君、副議長 今泉 壮規君のもと開催された9月定時総会では本年の運動の補正予算や、次年度の役員選任と言った重要な議案の総会が皆様のご協力をいただき、無事に会を終える事が出来た。総務委員会として2度目の総会設営であったが、新入会員も緊張感を持ち設営に臨む事が出来た。総会資料に関しても、前回の反省を踏まえ細部まで確認する事が出来た。

## ③ 12月臨時総会

議長 高橋 久紀君、副議長 今野 辰哉 君のもと開催された12月臨時総会ではタイトなスケジュールであったが、予定より早く時間内に総会を終える事が出来た。成田理事長のもと一年間行って来た運動と、次年度理事長予定者の青木誠君のもと行っていく運動が承認された事で、次年度も更なる運動を展開していく事を周知し現役会員の結束を強める場となった。

## 5. 6月例会の企画運営

私達の活動をより身近に、そして具体的にご家族に伝えるべく開催した6月例会並びにドリームフェスタであったが、多くのご家族の皆様にご参加いただく事が出来た。総務委員にとっても全員で協力し、しっかりと設営する事が出来た事で、委員全員の成長を感じ取る事が出来た。突飛な発想と思われたこの事業を成し遂げる事が出来たのは、私達の想いに賛同して下さった国際ビューティ・ファッション専門学校やリーダーズクラブの皆様、様々なアドバイスをくださった理事メンバーの皆様、そして私達の想いをしっかりとご家族に伝えてくださったメンバーや、当日の設営にご協力いただいた現役メンバーの皆様のご協力あってのものであり、総務委員会一同改めて感謝を申し上げる。今後もより良い家族例会を開催していただき、私達のJC運動をご家族にしっかりと支えていただく環境が創れば幸いである。

## 6. うねめまつり参加引率

(一社)奈良青年会議所の皆様を、総務委員会が一丸となり精一杯おもてなしする事が出来た。友情を深めるだけでなく、エクスカッションやアトラクションを通して、総務委員会自体も更に成長する事が出来た。そのような大きな成果を得る事が出来たのは、エクスカッションを始めとする各セクションに参加し盛り上げて頂いた現役会員のおかげでもあった。今後もLOMが一丸となり、(一社)奈良青年会議所との友情を深めていく事が必要である。

## 7. 奈良公式訪問

(一社)奈良青年会議所の皆様に、大変ご多忙の中春日大社エクスカッションを含む素晴らしい設営でおもてなしいただき、理事長を始めとする参加者全員が非常に素晴らしい時間を過ごす事が出来た。花扇奉納行列や神事への参加、そして懇親会を通じて(一社)奈良青年会議所の皆様と交流を深める事が出来た。全国大会と重複する過密日程であったが、それを補って余りある非常に素晴らしい事業であった。

## 8. 卒業式の企画運営

卒業式では、今までJC運動に取り組んできた皆様から熱い想いを語ってもらうだけでなく、現役にも激励の言葉を頂いた。先輩となる皆様の期待に応えられるよう、我々はますますJC運動に真摯に取り組む必要がある。全体としておもてなしと感謝の気持ちを伝えるべく総務委員会一丸となって準備段階から臨み、我々が一年を懸けて学んだことを全力で表現した設営が出来た。本年度ご卒業される皆様の新たな門出をサポートしていただいた全ての皆様に感謝申し上げます。

## 9. 文書発送作業

毎月15日を基本とし現役会員、OB会会員に事業案内等の文書、広報誌等を発送した。

## 10. 常任理事会、理事会等諸会議の設営と運営、その他庶務に関する業務

毎月開催された常任理事会、理事会の会議の設営、議事録作成を行なった。

## 11. 総会資料、会員名簿・名刺の作成

定時総会、臨時総会、会員名簿、名刺の作成を行なった。

## 12. 会員拡大に関する情報収集

総務委員会として、新入会員を中心に次年度新入会員候補者の掘り起しまた、声掛けなど積極的に会員拡大会議へ年間を通して参加した。

### 13. その他理事長所信に基づき行なう事業

#### 羽ばたけ！がくとくんフェスティバル2015

音楽を楽しむ若い世代が、楽曲のアレンジを通して自分たちの感性、考え方を表現する機会となった。参加者、観覧者が少なかったことは残念であったが、TVや新聞等での報道により若者たちの中でも「音楽都市郡山」の意識を更に醸成する事が出来た。

今後も更に音楽が郡山の地域の宝である事に誇りを持てる事業を展開し、市民と共に音楽都市郡山の価値を高めていくべきだと考える。

**一期一会～新たな同志と共に歩みだそう～**をスローガンに総務委員会は一年間全力で運動に取り組んで参りました。

新入会員は例会の設営や庶務に関する業務から基本を学び、事業を通じてまちづくり、ひとづくりを学び地域のリーダーに相応しい人財となるべくJAYCEEとして成長する事が出来ました。同時に教育するスタッフも、今一度郡山青年会議所のあるべき姿を考え実践し、新入会員の見本となるべく自己研鑽に努め共に成長する事ができ、優秀JAYCEE賞を両リーダーが受賞する事が出来たのは委員長として非常に嬉しく思います。また今年度は事業にも活かす事が出来る例会の設営へのチャレンジも実施し、より総務委員会として議論を交わす機会が増え更に結束を強める事が出来ました。

総務委員会全員が郡山青年会議所の運動や遠征事業に積極的に参加した事で多くの学び、気づきを得ましたが、次年度以降の運動に活かしていく事こそ今後何よりも重要な事であると考えます。新入会員を始めとする我々はJAYCEEとして更に多くの経験を得て、今後の郡山青年会議所の更なる発展、そして明るい豊かな郡山の創造へと繋げていく事をお誓いし委員長挨拶とさせていただきます。

最後にこのような貴重な機会を与えてくださった成田理事長、そして有我専務に御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

# 2015年度 会員開発委員会

委員長 橋本 裕  
副委員長 阿久津 圭亮  
松崎 匠  
★委員会スローガン

## 一人ひとり、1歩前へ！

### ★事業方針

郡山青年会議所が目指す「明るい豊かな社会の実現」のためには、現役メンバーの更なる資質の向上と、同じ志を持って積極的に運動を展開できる仲間を増やしていくことが必要である。

そのために会員開発委員会は、現役メンバーが積極的にOB会の諸先輩方と向き合い、郡山青年会議所の歴史と伝統、そしてその精神をしっかりと受け継ぐこと、並びに会員の資質向上のため、JC活動に真摯に取り組むことができる環境を整える。その中で、メンバー自身が郡山青年会議所の一員であるという自覚と使命感を持ち、一人ひとりが郡山青年会議所を発信できるリーダーとなることをサポートし、LOMを牽引していく。

これらの活動を通してメンバー一人ひとりが郡山青年会議所の目的や運動、そして魅力を力強く広く発信することにより、OB会の諸先輩方、市民の皆さん、そして地域との連携を更に深めて、郡山青年会議所の存在意義を強く認識していただき、共に運動を展開していく多くの仲間を迎え入れることへと繋がる。

### ★事業計画

[開催予定月]

- |                                  |      |
|----------------------------------|------|
| 1. 新入会員オリエンテーション及び会員セミナーの実施（室合同） | [2月] |
| 2. 4月例会（チェリーパーティー）の企画運営          | [4月] |
| 3. ブロック大会引率                      | [7月] |
| 4. 7月例会の企画運営                     | [7月] |
| 5. 全国大会東北八戸大会引率                  | [9月] |
| 6. OB会会員との交流                     | [通年] |
| 7. 会員拡大及び会員拡大の取りまとめ              | [通年] |
| 8. その他理事長所信に基づき行なう事業             | [通年] |

参考：会員募集スケジュール

※面接等個別に進められることは随時対応する。

2014. 12月	14年度新入会員候補者リストの精査
2015. 1月	目標設定・現役メンバーへのご依頼
2月	情報収集・候補者リストの作成
3月	候補者リストの作成・個別面談
4月	候補者リストの作成・個別面談
5月	企業訪問・候補者リストの作成・個別面談
6月	企業訪問・候補者リストの作成・個別面談
7月	個別面談・説明会準備
8月	個別面談・説明会実施
9月	個別面談・説明会実施・面接実施
10月	個別面談・説明会実施・面接実施
11月	個別面談・説明会実施・面接実施
12月	個別面談・面接実施

### ★事業報告

#### 1. 新入会員オリエンテーション及び会員セミナーの実施（室合同）

人間力開発セミナーでは伊野泰司先輩を講師に迎え、緊張感を持った中で郡山青年会議所の歴史と伝統を踏まえてJC活動に取り組む姿勢を体験談を交えながらご講演いただいた。能力開発セミナーでは加瀬元三郎先輩を講師に迎え、体感し楽しみながらリーダーとして仲間にゴールのヴィジョンを明

確化し浸透させる能力を養う「パズルワーク」とチームビルディング能力を養う「ヘリウムリング」に取り組んだ。青春の居酒屋では歴代理事長かつ二代目である先輩方を亭主に迎えJC活動の楽しさと厳しさを様々な観点から学ぶ機会となった。さらにはトークングナイトなども含め、新入会員には青年会議所運動の意義や目的を感じてもらえることができたと思うし、現役会員には郡山青年会議所の歴史と伝統を再認識する機会となったと思う。オリエンテーションを通して新入会員と現役会員が互いの理解を深め、その後のJC活動を行なう上での人間関係を構築することができた。閉校式で感じた一体感はとても素晴らしいものであった。

## 2. 4月例会（チェリーパーティー）の企画運営

チェリーパーティーでは多くの先輩方に個別にご連絡を取らせていただき参加を呼び掛けた。その結果として多くの先輩方にお越しいただけた。OB会の先輩と現役メンバーが交互に着席し共に食事をとりながら会話やピアノの生演奏を楽しみ、なかなかお会いできない先輩方ともご挨拶をさせていただくなど、先輩方との距離を縮めるきっかけを得る機会となった。例年とは異なる設えとさせていただいたが総勢100名を超える盛会となり、会員開発委員会の設営らしくOB会の先輩方から多くの新入会員候補者の情報をいただくこともできた。乾杯用のドリンクをはじめ、桜をコンセプトとした食事や春と桜を連想させる曲をピアノで生演奏したことが会場の桜と相まってチェリーパーティーに相応しい雰囲気を作り出してくれた。

## 3. ブロック大会引率

二日間にわたり、いわき石川の地で開催された今年のブロック大会は近場ということもあり現地集合、現地解散というスタイルで引率させていただいた。その結果として多くのメンバーにご参加いただくことができた反面、全出席されたメンバーは少なくなってしまった。アカデミー委員会の発表をはじめとする多くの出向メンバーの活躍がLOMメンバーの刺激となったことだろう。また、式典等に参加し、郡山JCのメンバーが設営の難しさ等を様々に感じた事は来年の55周年に向けて大きな意味があった。

## 4. 7月例会の企画運営

沖縄で安里先輩に直接ご依頼をさせていただいた時に100%例会と新入会員候補者70名という目標をいただき、一気にペースアップした7月例会でした。安里先輩からいただいた「講師の承諾をもらってから何をするのか、それを考えて欲しい」という言葉が今でも頭に残っている。その後の1ヶ月間はまさに候補者巡りといった感じであったが、今から思えばその後の会員拡大活動の基礎が出来上がったのが7月例会であった。安里先輩の青年会議所活動に対する心構えを拝聴し、多くの現役メンバーと新入会員候補者、一人ひとりが今後の様々な活動に対して覚悟を持って臨むようになり、設営を担当した委員会メンバーをはじめ確かな気持ちの変化を感じることができた。

## 5. 全国大会東北八戸大会引率

皆様のご理解をいただいてキャンピングカーでの宿泊並びにバーベキューでの懇親会という設えを行なうことができた。本年は八戸の地での開催ということで、宿泊施設のキャパという大きな壁があったがそれを楽しみながら克服できた。二日目の宿泊は青森市でLOMナイト後の移動に思いのほか時間がかかりご参加いただいた皆様に大きなご負担をお掛けしてしまった。また、翌日には奈良公式訪問があり、とてもタイトなスケジュールの中での遠征となった。しかし、ご参加いただいた5名のご卒業生が全国大会と青森八戸の名産品を満喫していただけたことが何よりであった。

## 6. OB会会員との交流

本年は2回にわたり開催したが、2回とも全ての先輩方を対象とさせていただいた。より多くの先輩方にお越しいただくためにどのような設えをするべきなのかを検討し試みた年であった。4月例会同様に2回の交流会とも多くの先輩方に直接連絡を取らせていただき、多くの先輩方に参加していただくことができた。第2回では秋の味覚を楽しんでいただくという設えのもと、炊き込みご飯と芋煮を現役会員で先輩方に振舞った。また、現役メンバー自己紹介をしながら数字を決めるビンゴゲームを行いOB会の先輩方に楽しんでいただきながら親交を深めた。

## 7. 会員拡大及び会員拡大の取りまとめ

会員拡大会議においてはワークショップを行い、新入会員候補者に対してJC活動の魅力や活動に費やす時間や費用をどのように伝えていくべきなのかを考え実践した。また、現役会員全員に協力いただいたマンダラシートを活用し、新入会員候補者リストを一新した。一方、福島ブロックや東北地区が開催した会員拡大に関するセミナーに参加し過去の事例などを積極的に収集した。

LOM内の取りまとめに関しては各メンバーから寄せられた情報に基づき、情報提供者にアポイント、面談とご協力いただき、新入会員候補者と郡山JCとの距離を一気に縮めることができた。また、LOMメーリングを使用し各メンバーから寄せられた情報やその結果を共有することで、拡大活動を持続的かつ継続的に行うことができた。

#### 8. その他理事長所信に基づき行なう事業

理事長所信に掲げられている「脈々と受け継がれている郡山青年会議所の歴史と伝統、そしてその精神をしっかりと受け継ぎ、次世代へと教え伝えていくこと」を達成するためにまずは我々現役メンバーが様々な場面でOB会の先輩方とコミュニケーションをとり、それを積み重ねることで歴史と伝統、そしてその精神をしっかりと受け継いでいけるよう機会の創出を心掛けた。また、次世代へ伝えていくために多くの新入会員候補者と面談を重ねていった。新入会員候補者に関しても新たなツールを用いてLOMメンバーにご提供いただいた情報を基に新たなリスト作成を行なった。また、OB会の先輩方からも新入会員候補者に関する多くの情報提供をいただいた。メーリングを活用し委員会からLOMに対して情報を更新することで会員拡大活動を皆様のご協力をいただきLOM一丸となって行なうことができた。

一人ひとり、1歩前へ！のスローガンの基、委員会メンバーには一人ひとりが一歩前に進めるよう個人目標を設定してもらい意識の高揚をはかるとともにモチベーションを維持するために年間を通した事業の設営を行なった。特にOB会との交流事業においては委員会メンバーが積極的に先輩方とコミュニケーションを図るべく行動した。引率事業においてはとにかく楽しくをモットーに、どうすれば皆様に参加していただけるのかを考えていった。

新入会員との面談では、郡山JCのあるべき姿を包み隠さず伝えることができた。情報提供者と委員会メンバーが共に面談することで新入会員候補者の不安を解消し、積極的に質問してもらうなど非常に深いコミュニケーションを持てた有意義な時間を送ることができた。入会に至らなかった方にも青年会議所という存在をきちんと認識してもらうとともに活動に対する理解を得られたと思う。

最後になるが、今年の委員会活動に対しご指導ご鞭撻、ご協力をいただきました皆様に感謝申し上げます。特に指導力開発室長として我々を支えていただいた亘室長には本当に感謝申し上げます。時には一緒に活動し、時には厳しく指摘してくれる、室として行動することも多く非常に楽しい時間を過ごさせていただいた。阿久津、松崎の両副委員長、委員会メンバーにも本当に感謝申し上げます。我々が行なった活動は継続してこそ価値のある事業であるから、縁あって入会することになった新入会員が今後の郡山JCを引っ張っていくことを期待する。一年間ご依頼ばかりでしたが、大変お世話になりました。

## 2015年度 広報委員会

委員長 柳沼 勝恵  
副委員長 石津 幸司  
★委員会スローガン

# to impress

## ～JCをもっと身近なものに～

### ★事業方針

我々郡山青年会議所は、このまちをより良くし、笑顔が溢れる明るい豊かな社会を実現するために日々運動を展開している。このまちに住む人びとに我々の運動の意義、本質を広く効果的に伝え、一人でも多くの人びとに郡山青年会議所の存在、そして運動を理解して頂く事が私たち広報委員会の使命である。

この目的達成のためには、興味を引く広報誌及びホームページを作成することで、より多くの人びとに見てもらい郡山青年会議所を知って頂く必要がある。

広報誌については年4回の広報誌発行に加え、特別号として我々の活動報告の場を設け、よりタイムリーな事業告知・活動報告を行う。特に年4回発行する広報誌においては、我々郡山青年会議所の活動報告に加え特集記事のページを作成し、委員会メンバー一人ひとりがこのまちの魅力を取材し、それらをプラスして発信することで多くの市民に広報誌を手にとって読んで頂き、読者に笑顔を与え身近に感じてもらえる内容とし、我々の運動への理解と協力を得られるものとする。

ホームページについては迅速な更新はもとより、見る人が我々の運動をイメージしやすく、より効果的に人びとに共感を得られるものを構築する。さらに、我々の運動をリアルタイムで発信する手段としてソーシャルネットワークサービスを最大限に活用し、よりスピーディかつ正確に伝播させる。

これらの活動を通し委員会メンバー一人ひとりが、郡山青年会議所を広く伝播させるという当事者意識を持ち行動することで、我々の運動が市民に理解され郡山青年会議所がより身近で必要とされる存在となり、このまちに笑顔という大輪の花を咲かせることができる。

### ★事業計画

〔開催予定月〕

- |   |                                    |
|---|------------------------------------|
| 1. 新入会員オリエンテーション並びに<br>現役会員向け会員開発セミナーの実施（室合同） | 〔 2月〕                              |
| 2. サマーコンファレンスへの引率                             | 〔 7月〕                              |
| 3. 8月例会の企画・運営                                 | 〔 8月〕                              |
| 4. 広報誌発行<br>（特別号）                             | 〔 1月、5月、8月、12月〕<br>〔 3月、6月、9月、11月〕 |
| 5. ホームページ作成・運営管理                              | 〔 通年〕                              |
| 6. メールアドレス・メーリングリストの管理                        | 〔 通年〕                              |
| 7. LOM事業の取材                                   | 〔 通年〕                              |
| 8. 会員拡大に関する情報収集                               | 〔 通年〕                              |
| 9. その他理事長所信に基づき行なう事業                          | 〔 通年〕                              |

### ★事業報告

1. 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナーの実施（室合同）

人間力開発セミナーではOBである伊野泰司先輩にお越しいただき良い緊張感の中、郡山青年会議所の歴史や伝統、青年会議所運動についてお話頂きました。能力開発セミナーにおいては、加瀬元三郎先輩にお越しいただき、実際に頭や体を使いながらリーダーとしての考えやチームワークについて楽しく学ぶことができました。また室合同での設営という事で、数回にわたり合同委員会を行い、参加頂いたメンバーの皆様の協力もあり大きなトラブル等無く設営する事が出来ました。新入会員だけでなく、現役メンバーにとっても改めて郡山青年会議所の歴史や伝統を学ぶ良い機会となりました。

## 2. サマーコンファレンスへの参加引率

多くのメンバーの皆様にサマーコンファレンスに参加頂きありがとうございました。「イノベーションを起こす思考すべては未来を生きる人のために～文化と文明が生み出す底知れぬ力による日本再興～」の大会スローガンのもと開催されたサマーコンファレンスでは各界を代表する有識者の方々の講演を聴き、今後のJC運動へ繋げる事が出来たのではないかと思います。また、出向者の皆様の活躍する姿を拝見する事で、出向した事のないメンバーにとっても視野が広がり、良い刺激となったものと思います。設営に際しましてご協力頂きましたメンバーの皆様に感謝申し上げます。

## 3. 8月例会の企画・運営

公開例会として講師に元ディズニーリゾート運営部長である、安孫子薫氏を招き「ディズニーランドの人気の秘密～すべてはゲストのハピネスのために～」の演題のもと郡山公会堂にて講演会を実施しました。有料での講演会という事で様々な課題があったが、委員会メンバーを始め現役メンバーの皆様の協力のお蔭で多くの市民の方々にお越し頂く事が出来ました。また、チラシ・チケットのデザインやチラシの配布など行えるものは全て委員会内で行い8月例会を作り上げる事が出来ました。

## 4. 広報誌発刊

「smile～このまちに笑顔を～」のタイトルのもと年間4回プラス特別号4回の計8回の広報誌発刊となりました。また、各号で様々な特集記事を組み、より郡山青年会議所を身近に感じて頂けるように委員会内で工夫して行ってきました。広報誌発刊にあたり取材や写真撮影等多くのメンバーの皆様に協力頂きありがとうございました。

## 5. ホームページ作成・運営管理

活動報告の迅速な更新だけでなく、事業案内として、各事業のPRや告知、動員にも力を入れてホームページの運営を行いました。またフェイスブックにてリアルタイムに情報を発信する事で、郡山青年会議所を広く伝播する事ができました。

## 6. メールアドレス・メーリングリストの管理

2015年度のメーリングリストの管理や各委員会での事業毎の申込みフォーム用メールアドレスを作成し管理しました。特に大きな問題はなかったが、メーリングリストへの追加や退会者の削除などが遅れるときがありました。

## 7. LOM事業の取材

広報委員会としてほぼ全てのLOM事業に参加し事業の取材、撮影、フェイスブックでの情報公開を行いました。

## 8. 会員拡大に関する情報収集

ホームページへの会員募集用のページ作成、広報誌への記事の掲載など、会員拡大につながる取り組みを実施しました。

## 9. その他理事長所信に基づき行なう事業

「JR郡山駅発車メロディ変更プロジェクト」にて郡山市、JR、KPCと協力し、本年4月1日より行われました「ふくしまディステーションキャンペーン」にあわせ、JR郡山駅の発車メロディをGREENの「キセキ」「扉」に変更する事業を行いました。4月1日当日は郡山駅構内にてセレモニーも実施し多くの人びとにお越しいただきました。またマスコミでも取り上げて頂き郡山青年会議所を全国に広く発信することが出来ました。

広報委員会として郡山に笑顔という大輪の花を咲かせるための手法を考え、文字と写真を使って一人でも多くの人びとに知って、共感頂けるようにホームページ・広報誌の運営管理、事業に取り組んで参りました。郡山青年会議所現役メンバーはもちろん、OBの先輩、各種団体、関係者の皆様に多大なるご支援、ご協力を頂き、心より感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。



# 2015年度 まちづくり委員会

委員長 増子 陽  
副委員長 川村 憲司  
★委員会スローガン

けいおうかいらい

## 継往開来

～愛するこのまちのために～

### ★ 事業方針

明治以降、商業都市として発展してきたわがまち郡山も、幹線道路の発展や大型店舗の郊外化等により中心市街地をはじめ地域に根差した店舗・施設の利用が徐々に遠ざかり、核家族化や人との繋がりの希薄化も進行し、その地域の持つ魅力さえも知らない人が多くなってきている。「郡山ってどんなまち？」との問いにどれだけの人が自信を持って答えられるのだろうか。我々はもとより、市民一人ひとりがそれぞれの地域の持つ魅力に誇りを持たずして明るい豊かな社会は築けない。それぞれの地域の宝でもある様々な魅力を的確に理解し、次世代へ伝えるためにもまずは「まちを知る」ことが必要である。併せて我々は地域振興に寄与する事業を展開する団体として、関係機関との連携をさらに強化し、地域活性化に先陣を切って継続的に取り組まなければならない。

そこで、今年度は郡山の各地域の様々な魅力を再発掘し、一人でも多くの人々にその魅力について学ぶ機会を設け知っていただくと共に、地域の賑わい創出・交流人口の増大を図るため、各地域の特色を生かした事業を展開する。それによりこのまちの魅力を伝え、このまちに誇りを持つきっかけとする。そして後世へ語り継ぐ郷土を愛する心を育むだけでなく、各地域の様々な魅力を発信することで郡山全体の価値を向上させる。また、五十年以上継続している「久米賞・百合子賞」を効果的に発信し広く市民に伝えることで、郡山の大きな魅力・誇りとして認識していただくことや、市内の清掃活動という身近な活動を実施することで更に郡山青年会議所が地域に必要な存在となる。

これらの事業を通じた結果として、郷土を愛する心豊かな笑顔溢れる魅力ある未来を創造する。全ては愛するこのまちのために。

### ★ 事業計画

	〔開催予定月〕
1. 京都会議引率	〔 1月〕
2. 第54回「久米賞・百合子賞」実行委員会の設置（室合同）	〔 2月〕
3. 久米正雄先生・宮本百合子先生墓参（室合同）	〔 3月〕
4. 5月例会企画・運営	〔 5月〕
5. 市内清掃活動	〔 6月・10月〕
6. 郡山の特色を生かした事業	〔 8月・9月〕
7. 11月例会の企画・運営（室合同）	〔11月〕
8. 第54回「久米賞・百合子賞」授賞式（室合同）	〔11月〕
9. 会員拡大に関する情報収集	〔通 年〕
10. その他理事長所信に基づき行なう事業	〔通 年〕

### ★ 事業報告

#### 1. 京都会議引率

今年度最初の遠征事業として、大きな事故もなく無事に終了することができた。計画人数には達しなかったものの例年以上の参加人数となり、日本青年会議所の基本理念や運動方針、会頭所信を今年度の青年会議所運動への礎として各メンバー心に刻むことができたのではないかと感じた。また、京都の地で共に行動できメンバー同士親睦も深まった。引率においては判断に困りメンバーに混乱を招いたこともありご迷惑をおかけしたが、メンバーの柔軟な対応とご協力によりスムーズな引率ができた。

#### 2. 第54回「久米賞・百合子賞」実行委員会設置

今年度は作品数こそ昨年を下回ったものの久米賞の小説部門・詩部門の両方から正賞が排出される非常にレベルの高い年であった。百合子賞においても例年通り小説部門から正賞が排出された。来年度は第55回ということで記念すべき年として更なる発展に繋がる結果となった。

#### 3. 久米正雄先生・宮本百合子先生勉強会並びに墓参（室合同）

勉強会では、伊藤和氏より両先生の生い立ちや作品を学ぶばかりでなく、郡山市や郡山J.Cの歴史等幅広く学ぶことができた。毎年和氏らしい趣向の凝った勉強であるため新入会員以外の現役メンバーにとっても新たな発見があった。

墓参では、一部スケジュールの変更を余儀なくされたものの、メンバーの皆様の迅速な対応により無事大きな事故等もなく終えることができた。

#### 4. 5月例会並びに地域の魅力を大いに語ろう！大交流会開催

当日は参加員数計画には至らなかったものの、全ての団体の皆様に参加いただくことができた。各地域のPR資料やPR方法も様々で個性豊かなところが我々としても学ぶべきことが多くあったと感じた。交流会部分では各地域の食材を活用したメニューで、話題作りとしてもお役に立つことができ、また、ご参加いただいた皆様からはこのような機会を待っていた方も多く見受けられ、限られた時間ではあったものの大いに交流が図れた。何より今後の事業構築のための大きな一歩を踏み出すことができた。

#### 5. 市民総ぐるみクリーンこおりやま運動

今回は郡山駅前西口広場を集合とし、例年にない形での開始となった。アーケード、陣屋方面においては前日の賑わいが伺えるほどゴミも多く、まちの美化に貢献することができた。身近な清掃活動はすぐにできるまちづくりの一つであり、安心して暮らせる綺麗なまちづくりとして改めて重要であると感じた。また、当日は準備不足によりメンバーにご迷惑をお掛けし大変申し訳ない気持ちでいっぱいであった。

#### 6. 郡山の特色を生かした事業（地位の魅力発信事業）

広く市民に対し青年会議所運動を伝播することや、各関係機関と連携を強化し、まちづくり団体である公益社団法人郡山青年会議所の今後の事業構築する上の基礎をより強固なものとすると共に、一般市民に対しては地域に対する認識度向上や地域資源の発信、また、それぞれの地域に対する愛着や誇りを再認識し多くの人々に郡山の様々な魅力を知ってもらった。それぞれの事業については以下のとおりである。

##### （1）知る・見る・遊ぶ 郡山なるほど検定 受験者募集

委員会一同連日のように集客に取り組んでくれたものの、集客することの難しさを知る結果となった。募集期間を十分確保すること等の事業の組み立て方に課題が残った。しかしながら、まちづくりのメイン事業の一つであるこの検定を楽しみにしてくれた方々がいてくれたことは事実である。将来的に第2回目が開催されることを願う。

##### （2）知る・見る・遊ぶ 郡山なるほど検定 開催

実際の募集人数より大幅に少ない人数での実施となってしまい、当事業の魅力伝えきれなかったものの、当日は福島テレビによるテレビ取材や新聞取材、郡山東高校からも取材が入り、事業自体は広く発信できた。また、まちを知ることはまちづくりの原点でもある。商工会青年部をはじめとする多くの関係団体から協力を得て郡山で初めて実施したこのご当地検定は、様々な分野の郡山の魅力の掘り起しができ、我々自身も各地域の魅力を知ることができた。この事業を通じて地域の良さを知り、愛郷心を育むことができたと感じた。

##### （3）郡山風土フェスタ 開催

当日は一時天候が心配になったものの、何とか持ちこたえ無事盛大に開催することができた。また、各地域の特色を生かしたブース出店や演出を、多くの来場者に見て触れて味わっていただくことができ地域活性化を図ることができた。各ブース出店者や出演者も我々が実施した今回の事業について評価していただけた方も多く、青年会議所運動の素晴らしさを対内外共に強く発信できた。これも偏に各セクションをご担当された委員会をはじめとするメンバーの皆様の的確なご対応ご協力のおかげである。

##### （4）郡山なるほど出前授業 開催

講師の方たちは生徒たちに教えるという慣れない経験だったものの、それぞれの講師がそれぞれの知識を披露し、郡山に対する愛郷心を伝達することができた素晴らしい内容だった。生徒たちの真剣な眼差しや問いかけに対する反応などからは意欲的に郡山のことについて知ろうとする姿勢が強く感じられた。また我々はもちろん先生方も大変勉強になったとおっしゃっていただくことができた。まずは大人の我々が郡山に対して愛郷心を持ち、発信することが子供たちに郡山のことを好きになってくれることへ繋がるものだと強く感じた。

#### 7. 第2回市民総ぐるみクリーンこおりやま運動

第2回目となった清掃活動だったが、引き続き駅前アーケード周辺のゴミが目立った。一番身近なまちづくり活動の一つであるこの清掃活動を日常的に取り組む必要があると感じた。是非メンバーの皆様にも整理整頓をはじめ、会社や家などの周辺のゴミ拾い等を積極的に取り組んでいただきたいと願う。

#### 8. 11月例会の企画・運営（室合同）

実に15年ぶりに久米賞の小説部門・詩部門の両方から正賞が排出され、今年の文学作品のレベルの高さを感じる事ができた。受賞者の生徒たちは、文学の森資料館の見学から審査員の先生方との昼食会、授賞式そして講演会と長時間にもかかわらず最後まで緊張した面持ちで真剣に取り組んでいる姿が印象的だった。審査委員の先生方はもとより、藤谷治氏も懇親会までお付き合いただき、最後までこの文学賞に対し理解を深めていただくことができた。反省点については次年度へしっかりと引き継ぎをし、50年以上継続しているこの文学賞をさらに発展させていきたい。

「継往開来～愛するこのまちのために～」のスローガンのもと一年間取り組んできた。

今年は郡山の各地域の魅力を掘り起こし、郡山で初めてとなるご当地検定を開催、屋外ではやはり郡山に特化したフェスタを開催した。そして出前授業では小学校の生徒たちに郡山の魅力を伝えることができ、これら一連の事業を通し老若男女幅広い年齢層の方々に郡山の素晴らしさを伝え、知っていただくことができ、愛郷心を育てていただけたと実感している。「まちを知る」ということは、まちづくりの原点でもある。我々自身が郷土について学び、誇りを持たなければ決して次世代へ繋げることはできない。そして郡山にはまだまだ潜在的な魅力が数え切れないほど存在する。それらを継続的に学び、触れ、多くの市民が愛郷心を育ていけるよう今後も様々な形でまちづくり事業を実施していきたい。

最後に、多くの関係者を巻き込んだ今年の事業であったが、皆様からは多大なるご支援ご協力いただき心から感謝申し上げます。一年間本当にありがとうございました。

# 2015年度 青少年育成委員会

委員長 長井 勝義  
副委員長 門脇 真  
★委員会スローガン

## しつ じつ ごう けん 質 実 剛 健

～ 笑顔が溢れる未来環境を形成しよう ～

### ★ 事業方針

郡山の未来を担うのは子どもたちである。その子どもたちは、家庭教育や学校教育を通じて善悪の判断、他人に対する思いやり等を学ぶが、中でも家庭教育は教育の出発点である。しかし、近年では核家族化、少子化等の家庭環境を取り巻く社会の変化により、家庭教育力の低下が懸念されている。また、未曾有の大災害から3年以上が経過し、郡山は着実に復興しつつあるが、一部で風評被害などにより、将来の生活について不安やストレスを感じる子どもたちがいることも事実であり、真の復興には子どもたちの心の復興が必要である。

そこで、今年度はスポーツや自然とふれあう事業、郡山の歴史ある文学事業を通じて子どもたちの夢や目標に向かって邁進する強い心、人を思いやる心や敬う心を育むとともに、親学を推進し、親子関係の大切さについて学んでいく。

これらにより、親子が心身ともにたくましく成長し、成長した子どもたちが大人になった時に本当にこのまちで育って良かったと思える愛郷心が醸成され、子どもたちの笑顔という大輪の花を咲かせることができる。

### ★ 事業計画

	〔開催予定月〕
1. 第54回「久米賞・百合子賞」実行委員会の設営（室合同）	〔2月～12月〕
2. 久米正雄先生・宮本百合子先生墓参（室合同）	〔2月〕
3. 3月例会の企画・設営	〔3月〕
4. 「第50回郡山市こどもまつり」への参画	〔5月〕
5. わんぱく相撲郡山場所の開催、福島ブロック場所・全国場所への参加引率	〔5月～8月〕
6. 青少年育成事業の開催 スポーツ・自然	〔6月～8月〕
7. 会員拡大に関する情報収集	〔通年〕
8. その他理事長所信に基づき行なう事業	〔通年〕

### ★事業報告

#### 1. 第54回「久米賞・百合子賞」実行委員会の設営（室合同）

第54回「久米賞・百合子賞」は室合同の運営となり、両委員会の連携が求められる実行委員会であった。職務分担を決めて取組んでいたが良かった点や反省すべき点が多々あった。それらをしっかりと次年度の担当者に引き継ぎ、次回の第55回という記念の年に活かし「久米賞・百合子賞」の益々の飛躍に繋げてもらいたい。本年度の開催が無事に行えたことを運営にご協力いただいた関係各位の皆様へ感謝申し上げる。本当にありがとうございました。

#### 2. 久米正雄先生・宮本百合子先生墓参（室合同）

第54回「久米賞・百合子賞」は室合同の運営となり、両委員会の連携が求められる実行委員会であった。職務分担を決めて取組んでいたが良かった点や反省すべき点が多々あった。それらをしっかりと次年度の担当者に引き継ぎ、次回の第55回という記念の年に活かし「久米賞・百合子賞」の益々の飛躍に繋げてもらいたい。本年度の開催が無事に行えたことを運営にご協力いただいた関係各位の皆様へ感謝申し上げる。本当にありがとうございました。

#### 3. 3月例会の企画・設営

3月例会並びに親子で運動教室には多くの市民の皆様のご参加をいただいた。当日の急な欠席者などで参加員数計画には至らなかったが当日は気温も暖かく最高のコンディションの中、多くの市民の皆様と本事業を開催する事ができた。健康運動士の角田誠氏をお招きし、参加した保護者は幼少期における運動の大切さや重要性について学び、子ども達はお掃除体操やピーヒャラダンスなどで楽しく運動を行った。帰り際の子どもの笑顔がとても印象に残った事業となった。設営で細かい部分の不備もあったが総務委員会と連携しメンバーの皆様へ迅速な対応をいただき成功裏に終える事ができた。今回の気付きと学びを今後の青少年育成事業に活かし、子ども達の

笑顔をひとつでも多く増やせるような事業を展開して行く。

#### 4. 「第50回郡山市こどもまつり」への参画

本年は郡山市こどもまつりが第50回を迎え、こどもまつり実行委員会では節目の年として、「親子3世代で楽しんでもらう」をテーマに工夫を凝らした設営を企画した。それに伴い郡山青年会議所は昔遊びコーナーの一画として輪投げを行った。当日は最高の晴天の中、多くの子どもたちがコーナーに訪れ楽しんでいただき、たくさんの笑顔に出会うことができた。家族連れで参加頂いたメンバー、設営・誘導などで御協力頂いたメンバーの皆様に感謝を申し上げる。

#### 5. わんぱく相撲郡山場所の開催、福島ブロック場所の開催・全国場所への参加引率

本年のわんぱく相撲は各大会とも晴天の下、多くの子どもたちや家族が集まり、事故等もなく無事に開催することができた。郡山大会においては多くの参加者が集まり、子どもたちは素晴らしい相撲をとっていた。郡山大会で上位に残った6名が、郡山の代表として福島ブロック大会への出場となり、福島ブロック大会では5名の選手が勝ち残り、福島県代表として全国大会に参加した。結果は、トーナメント戦1・2回戦で惜しくも敗退だったが子どもたちは「心・技・体」の精神で日々の練習の成果だけではなく、支えてくれている周りの方への感謝の心を持って、互を思いやる心を持って、相撲に取り組んでいた。そんな子どもたちの相撲へ対する姿勢をみて、我々も多くの気付きと学びがあった。わんぱく相撲で得た子どもたちの笑顔を今後の青少年育成事業に繋げなければならないと実感した。メンバー皆様には設営の協力、各大会での子どもたちへの熱い声援を送っていただき感謝申し上げます。

#### 6. スマイルサマーキャンプ～子どもたち夏わくわく体験交流プログラム～の開催

スマイルサマーキャンプ事前説明会では自己紹介やアトラクションで子どもたち同士の交流を図ることができた。キャンプ当日は両日も天候にも恵まれ、様々な体験を通じて人を思いやる心や敬う心、目標に向かって邁進する心など子どもたちの健全な心の成長を育むことができた実感している。また、各家庭に成果物のフィードバックを行った際に、保護者から子どもが家庭に戻り目を輝かせながらスマイルサマーキャンプの話をしていたと言う声も聞こえた。今後も子どもたちの笑顔が溢れる青少年育成事業を展開する事をお約束し委員長所見と致します。お忙しい中、メンバーの皆様にはご参加ご協力を賜りまして誠にありがとうございました。

#### 7. ドリームサッカーフェスティバル～本当の笑顔がそこにある～の開催

当日は天候が心配されたが多少の小雨が降ったものの、運営に支障もなく無事にドリームサッカーフェスティバルを開催する事が出来た。元サッカー日本代表の城彰二氏と健康運動指導士の角田誠氏をお招きし、城氏には親子でサッカー教室、角田氏には親子で体幹トレーニングの講師を務めていただいた。その中で、子どもたちには夢を持つことの大切さを、親には夢の育み方を学んでいただいた。親子で学んでいただいたことによって親子のコミュニケーションが図られ、家庭に戻ってからも活かせる内容であったと実感している。そして何より本事業を通じて多くの親子の笑顔を拝見する事が出来た。この笑顔を絶やさぬよう今後の青少年育成事業に繋げて行き、本事業の参加者から将来プロサッカー選手など夢を実現する子どもたちが多く輩出される事を祈念する。設営にご協力をいただきましたメンバーの皆様には感謝を申し上げます。

#### 8. 会員拡大に関する情報収集

会員拡大会議には伊藤和樹委員が参加し候補者の情報共有などを積極的に行った。また、委員会においても新入会員候補者について落とし込みを行い、情報収集や新入会員候補者との面談を行った。

#### 9. その他理事長所信に基づき行なう事業

本年も PEP Kids Koriyama (ペップキッズこおりやま) の支援協力として、月に1回ボールプールの清掃協力を行った。この協力により子どもたちが思いっきり安全に遊ぶことができ、笑顔に繋がったものとする。市民の方にも PEP Kids Koriyama イコール郡山JC というイメージがついている。是非、2016年度は1月からの支援協力を実施していただきたい。

最後に、「質実剛健～笑顔が溢れる未来環境を形成しよう～」の青少年育成委員会スローガンのもと、委員会内で共に語り合い、意見を出し合い一年間邁進してきた。青少年育成事業を通じて、子どもたちのみならず我々自身も多くの気付きと学びを得る事が出来た1年間でもあった。何よりも事業の中でたくさんの笑顔が溢れていたことが一番であり、未来へ繋がるものと確信している。このまちに笑顔という大輪の花を咲かせるために様々な青少年育成事業を展開してきた。未来を担う子どもたちの笑顔を絶やさぬよう、笑顔が溢れる環境を引き続き未来に繋げる事を約束し、青少年育成委員会の報告とする。

LOMメンバーの皆様はもちろん各種団体の皆様からもご支援、ご協力をいただき皆様には心より感謝申し上げます。1年間本当にありがとうございました。

# 2015年度 地域創造特別委員会

委員長 今野 辰哉  
副委員長 山本 将司  
★委員会スローガン

## Potential !

～郡山の革新的な展望と潜在性の追求～

### ★ 事業方針

福島県の中心に位置するわがまち郡山は、我々の先輩方から現在に至るまで連綿として受け継がれてきた地域に対する熱い想いにより、学術や企業立地、交通網等の各分野で地域特性を生かし、まちの基盤を積み上げてきた歴史がある。しかしながら、東日本大震災による被害と原発事故による未だ解決の糸口が見えない放射能問題を抱えており、復興への道のりは遠く閉塞感が漂っている。

新たなまちの創造段階にある今こそ、我々は地域特性の利点をさらに伸ばした形として、郡山の長期的なビジョンを描き運動を展開する必要がある。

まずは、これからの福島県の発展性を模索し、その中で郡山の担うべき役割についてメンバー間で勉強会を開催する。次に、メンバー間の議論を重ね意見を集約し、情報共有と意識醸成を図りながら郡山のもつ潜在性を見出すべく、未来構想を描く。

それにより、光り輝く郡山の未来構想を共有しながら行う我々の運動は、自ずと福島県全体の復興を牽引する展開を魅せる。

我々メンバーが先駆けとなり福島を牽引する意識を高め、これからの郡山が福島の発信源となるべく未来の礎を創造することで、より多くの笑顔溢れる大輪の花を咲かせることができる。

### ★ 事業計画

	〔開催予定月〕
1. 2月例会の企画運営	〔2月〕
2. 東北青年フォーラムの引率	〔9月〕
3. 10月例会の企画運営	〔10月〕
4. 地域創造の為の事業	〔通年〕
5. 会員拡大に関する情報収集	〔通年〕
6. その他理事長所信に基づき行なう事業	〔通年〕

### ★ 事業報告

#### 1. 2月例会の企画運営

公開例会として小島彰氏による「地域経済とこれからの郡山」という演題で、郡山市労働福祉会館3階大ホールにて多くのメンバーそして一般市民に参加いただいた。講演を通じて郡山における経済の変遷を学び、これからの郡山が経済県都として更なる発展を遂げるための潜在性を傾聴することで、県庁移転もステップのひとつと捉えた経済県都・郡山の進むべき方向性と可能性を創造し、市民とともに意識醸成を図ることができた。さらには、現役メンバーも今年度最初の事業として、今年一年の事業へ繋がる学びを得ることができた。

#### 2. 東北青年フォーラムの引率

地元で開催されるこの大会で故郷を愛する気持ちに触れ、真の復興へ向けて駆け出し、如何なる困難にも負けない夢と希望溢れる輝く東北の実現の為に、人と人の繋がりを感じ参加する事が出来た。また、メンバー同士の想いをひとつにし、未来のために語り、ともに歩みだすことが出来た。さらには、フォーラムを盛り上げるためにブースの出店を行い、震災復興支援への感謝の意を表し、併せて郡山をPRすることが出来た。

### 3. 10月例会の企画運営

#### 4. 地域創造の為の事業

公開の単独講演会として樋渡社中(株)代表取締役で前武雄市長の樋渡啓祐氏をお呼びして「すぐやる、攻める、そして組む。」～アイデアと行動力、10年後の郡山を考える～という演題で、震災復興のシンボル施設として今年4月に再オープンした郡山市立中央公民館多目的ホールにて多くのメンバーそして一般市民に参加いただいた。

当初10月例会と連続開催予定であったが、十分な講演内容と時間を確保できたため、講演会のみを単独で開催した。

地方創生の分野において経験豊かな幅広い見識をお持ちの有識者である樋渡氏の講演から、「地方を盛り上げる方策」や「先進的なアイデア」を共に学び、行政や市民の参加者の方々と共に、中・長期的な経済県都郡山の未来構想をかたちにするため、様々な角度から見識を深め、情報共有と意識醸成を図ることができた。

#### 5. 会員拡大に関する情報収集

会員拡大会議に、当委員会を代表して増子譲委員が参加し候補者の情報共有などを積極的に行った。また、委員会内においても新入会員候補者について落とし込みを行い、情報収集や新入会員候補者との面談を行った。

#### 6. その他理事長所信に基づき行なう事業

5月には事務局にて、我々の地域創造特別委員会に於いて、委員会セミナーを開催した。

講師に街こおりやま編集長の伊藤和氏をお招きし、「県庁移転と街づくり」について講義して頂いた。

現在までの度重なる県庁移転運動の背景と経緯について、文献を基に郡山市の街づくりの変遷を学ぶことができた。さらには、我々メンバーが今後取組むべき経済県都・郡山の進むべき方向性と可能性を見出すために、街づくりとはどのように実施するべきなのかを考える契機とすることができた。

最後に、「Potential!～郡山の革新的な展望と潜在性の追求～」の地域創造特別委員会スローガンのもと、委員会内で多岐にわたる議論の中で、多くのアイデア、意見を出し合い充実した委員会活動を行うことができた。様々な事業を通じて、これからの福島県の発展性を模索し、情報共有と意識醸成を図りながら郡山のもつ潜在性を見出すべく、未来を思い描く事ができ、多くの気づきと学びを得た一年間であった。

今後も、我々メンバーが先駆けとなり福島を牽引する意識をさらに高め、これからの郡山が福島の発信源となるべく未来の礎を創造することで、より多くの笑顔溢れる大輪の花を咲かせることができものと信じている。LOMメンバーはもちろん各種団体の皆様からもご支援、ご協力いただき、皆様には心より感謝申し上げます。貴重な経験となる1年間を頂いた成田理事長、有我専務に御礼を申し上げ委員会事業報告とさせていただきます。